

5 今年度の重点課題（学校アクションプラン）

令和5年度 新川みどり野高等学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習活動（学習指導）
重点課題	生徒の実態把握による適切な受講登録とわかる授業の確立
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・本校には不登校経験者が多く、基礎学力が定着していない生徒がいる。 ・様々な理由から、転入学生や編入学生が多くいる。 ・進路希望は就職希望から四年制大学への進学まで多岐にわたる。 ・学習への目的意識に乏しく、安易な欠席や遅刻が見受けられる。 ・互見授業等の校内研修を実施しているが、生徒へのフィードバックに課題が残る。
達成目標	①講座出席率 ②単位修得率
	①講座出席率85%以上 ②単位修得率85%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒や学習習慣が身に付いていない生徒が授業に参加できるように、学校全体で学習の支援にあたる。 ・多様な生徒のニーズに応じた、弾力的な教育課程の編成に努める。 ・HRや面談を通じ、一人一人の目的に沿った無理のない受講登録を勧める。 ・生徒、教員（担任・授業担当者）、保護者との連携をとっていく。 ・ICT機器の推進を図り、タブレットやデジタル教科書等を活用した教材開発に努める。 ・校内研修を充実させ、授業改善に生かせるように工夫に努める。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった。）

令和5年度 新川みどり野高等学校アクションプラン - 2 -	
重点項目	学習活動（福祉教養科）
重点課題	家庭・福祉に対する興味・関心の向上と基本的知識・技術の習得、及び思いやりの心の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次生から実習・体験、専門家による講義等を計画的に取り入れ、家庭・福祉に対する興味・関心を高めながら、福祉マインド（思いやりの心・自主性・協調性）を育成している。 ・介護職員初任者研修の対象は、来年度から3年生となるため今年度の開講はない。 ・昨年度卒業後に福祉系の進学・就職をした生徒は2名（4名中）であった。
達成目標	①「学校生活、家庭・福祉についての自己評価表」で各項目が向上した生徒の割合（現状維持を含める）
	②里孫活動への参加率（校内外活動を含む）
	①80%以上 ②80%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・前、後期に「学校生活、家庭・福祉についての自己評価表」を用いた調査を実施する。 ・基本的生活を確立した学校生活を送るために定期的に担任との面談を行う。生徒の指導に関して、年次と共通理解を図り保護者との連携を強化する。 ・生徒の個々の福祉マインド（思いやりの心、自主性、協調性）の育成を図るために、授業をはじめ体験学習や里孫等のボランティア活動等を積極的に行う中で知識や技能、態度を身につけ、専門性を深める。自らが家庭や福祉を学ぶ意義について考える機会を設ける。 ・1年次生から介護職員初任者研修の資格取得に向けた働きかけを行う。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった。）

令和5年度 新川みどり野高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	学校生活（保健指導）
重点課題	委員会活動の活性化による生徒の環境整備・健康意識の向上
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・保健厚生委員会では、新川キャンパスフェスティバルや学校保健委員会等の活動を通して、全校生徒に向けて展示や調査発表等で健康情報を発信したり、環境整備を呼びかけたりする機会を作っている。 ・生徒が提案する本校生徒の健康問題や学校生活の問題点への取り組みは、当事者である生徒の関心が高く、共感を得やすいため、活動の波及効果は期待できる。 ・環境整備の取り組みは、地域環境美化活動や校内美化週間を実施する中で、ポスター掲示で啓発を図ったりしているものの、その期間限定の活動であり、長期的な意識付けには至っていない。 ・全校生徒の環境整備や健康意識の向上を図るため、保健厚生委員会の活動がさらに活性化するようにサポートする必要がある。
達成目標	アンケート調査にて、全校生徒の環境整備・健康への意識が向上する。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の委員長・副委員長・年次代表が主体となり、生徒から出された意見を基に年間のテーマや活動計画を立て、生徒視点で活動するよう支援する。 ・校内美化週間をはじめ、日々の清掃活動を通して、生徒の校内環境を改善・維持する習慣（5S：整理、整頓、清掃、清潔、習慣）の意識づけを支援する。 ・新川キャンパスフェスティバルや学校保健委員会で全校生徒に向け調査・活動した内容を発表する場を設定する。 ・ほけんだよりの記事や掲示物を作成させる機会を設け、生徒視点の保健情報をS T等で発信する。 ・保健厚生委員会の発表・活動から学んだことや意識の変化などについて全校生徒にアンケート調査を行う。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった。）

令和5年度 新川みどり野高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	進路支援（進路指導）
重点課題	生徒が主体的にキャリア教育のステップアップを目指し、目標に向かって実践できる進路指導（支援）体制の構築
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育のステップアップのための具体的な方策が、学校全体での周知という面で不十分である。そのため、生徒はキャリア教育（進路実現、日頃の学校生活、各種学校行事等を含む）のステップアップとしての、自らの課題や目標が適切ではなかったり、目標設定に対する意識が低かったりする場合がある。
達成目標	生徒が的確に自己理解し、自らの課題について主体的に克服しながら進路実現を図ろうとする意欲を育むことができるような支援体制の充実や改善を行う。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分のステップアップの状況を把握する機会を定期的に設ける。 ・自らの課題について主体的に克服できるよう、関係する分掌、年次、スクールカウンセラー等と連携しながら学校全体で取り組む。 ・学期や行事毎にキャリアパスポートの作成に取り組むことで、生徒が主体的に自己の課題を克服するために、的確な目標を定められるようにする。

（評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった。）

重点項目	特別活動～様々な活動を通して、コミュニケーション能力の育成を図る～
重点課題	豊かな人間関係を構築する能力とコミュニケーション能力の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> 本校生の特徴として、生徒会活動や学校行事（スポーツフェスティバルや新川キャンパスフェスティバルなど）において、他の生徒と協働しながら、意欲的に活動できる生徒が一定数いる反面、与えられた指示には取り組むことはできるが、コミュニケーション能力が乏しく、基本的な生活習慣が確立できていないことで欠席してしまう生徒も多い。
達成目標	ホームルーム活動や生徒会活動、学校行事、部活動を通して、「主体的に様々な活動に参加する、互いのよさを生かす関係をつくり支え合って活動する、他者を大切にしながらコミュニケーション能力を高める」という意欲的な活動参加の機会を増やす。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ホームルーム活動では、話し合いや他者と協働しながら活動する経験を通して、ホームルームの一員としての役割を自覚させ、協調性やコミュニケーション能力を身につけさせる。 生徒会活動や委員会活動に進んで参加する意識を高めさせるとともに、学校生活をよくするための課題を見出し、話し合い、合意形成を図る経験を増やせるように取り組む。 学校行事では、生徒会や委員会が主体となり、「生徒会だより、広報委員会だより」を発行して、主な学校行事の活動の内容や意義を知らせることで行事への参加率を高める。また、事後アンケートを行い、自らの活動の振り返りを行わせる。 部活動に関する問題点を洗い出し、運営方法など改善策について検討する。

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった。)